



巨石積堰堤から芝生広場を望む



湧水を利用した河川プール



明治21年に完成した巨石積堰堤



DATA・BOARD 23

- ①岐阜県海津郡南濃町奥条
- ②面積：140,000㎡，建物床面積：488㎡
- ③さぼう遊学館，四阿，広場，河川プール，モニュメントほか
- ④志津御影石，植栽ほか
- ⑤祭り，マラソン，いきいきなんのう



南濃町の羽根谷には、明治時代にオランダ人技師ヨハネス・デ・レーゲの指導を受けて砂防のため巨石積堰堤が建設された。堰堤は一〇〇年を経た現在も役割を果たしており、日本の近代砂防事業の草分けとして高い評価を得ている。

「羽根谷だんだん公園」は、先人が残した遺構の意義を多くの人に紹介するとともに、周辺を公園として整備したものである。さぼう遊学館の建設のほか、巨石積堰堤との調和を考え、河道の護岸を岩組み工法とし、地域が桜の名所であることから新たに千本の桜を植樹した。

また、土石流の広場に普賢岳の水無川などから流れた岩石を展示したり、巨石積堰堤下からの湧水を利用して河川プールを設置している。

公園は、幅広い世代に学んで遊べる場として利用され、地域のイベント会場にも活用されている。